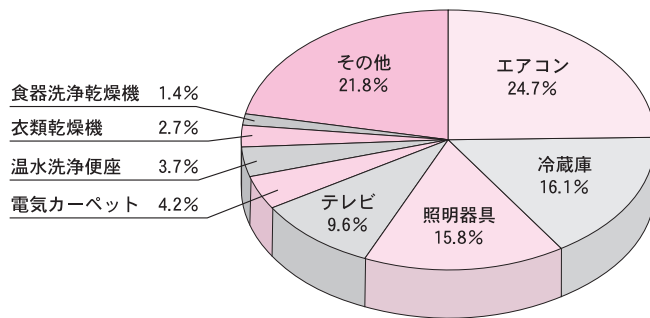


家庭エネルギーの内訳

家庭部門のエネルギー消費内訳

家庭用電気機器別の電力構成比（2002年度推定値）

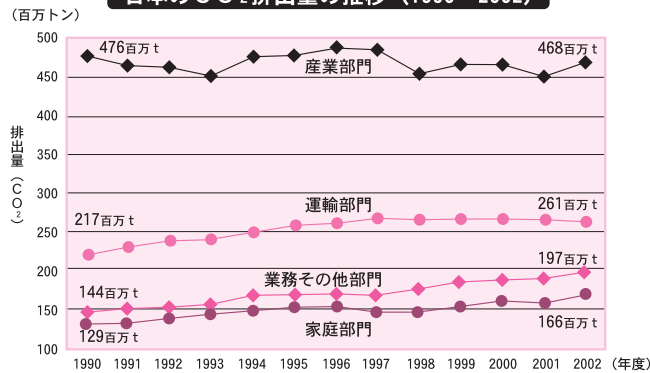


資料：資源エネルギー庁『2003年度電力供給の概要（2002年度推定実績）』

日常生活に欠かすことができないテレビやエアコンなど電化製品の普及は、エネルギー消費を増大させています。家庭用電気消費のうち、比率が高いのがエアコン（24.7%）、冷蔵庫（16.1%）、照明器具（15.8%）、テレビ（9.6%）となっています。これら「4大家電」が、3分の2を占めています。こうした電化製品の電力消費を抑えることが大切です。

日本のCO₂排出量の推移

日本のCO₂排出量の推移（1990～2002）



資料：環境省「2002年度の温室効果ガス排出量について」

京都議定書では、日本の温室効果ガスの排出量を平成2（1990）年度と比べて、20～24年度の間に6%削減することとされています。しかし、14年度の排出量は、2年と比べて、全体で約7.6%も増加しています。とりわけ、運輸や家庭部門でのCO₂排出量が増えています。

大量生産

大量消費

大量廃棄

